

# ノロウイルスふきとり検査

徹底した安全管理に向け、検便検査に加えて  
施設内のノロウイルスふきとり検査をおすすめします。



## ◆ご報告までの流れ

### 事前打ち合わせ

お客様 弊社

- ・ふきとりポイント(数・場所)の確認。
- ・日程(ふきとり実施日・検体到着日)の確認。



### 検査資材の発送

弊社

- ・弊社より検査資材を冷蔵にて発送いたします。



### ふきとり実施

お客様

- ・手順書に従い、お客様にてふきとりをお願いします。
- ・同封の申込用紙に検体情報を記入してください。

### 検体を発送

お客様

- ・検体は冷蔵にて弊社宛に発送してください。
- ※検体の送料は、お客様ご負担(元払い)となります。ご了承ください。



## 検査実施

### ご報告

弊社

- ・郵送にて検査結果をご報告いたします。尚、ノロウイルスが検出された際は、随時ご連絡いたします。



## ふきとり箇所例

調理器具類(まな板、包丁、ふきん など)  
取手(冷蔵庫、トイレ、浴室 など)  
蛇口(洗面所、厨房、トイレ、浴室 など)  
調理者の手・指 ※その他ご相談に応じます。

## 検査方法

BLEIA法(生物発光酵素免疫測定法)  
による定性検査

※定性検査ですので、陰性もしくは陽性のご報告となります。定量(数値)でのご報告はできません。

## 検査料金

1検体 3,000円(税抜)

※基本的にお客様による「ふきとり」となりますが、弊社調査員によるふきとりをご希望の際はご相談ください。(別途費用がかかります)

## 検査所要日数

検体到着日より1~2営業日

冬季限定: 10月1日~3月31日

※4月1日~9月30日の期間に関しましては、お問い合わせください。

## 検体の保管と発送

### 冷蔵

※届いた検査資材およびふきとり後の検体は、必ず冷蔵で保管してください。  
※弊社への検体の発送は必ず冷蔵でお願いいたします。

厚生労働省(食品衛生法)・環境省(水道法)登録検査機関

 **CRC食品環境衛生研究所**

〒813-0062 福岡市東区松島5-7-6  
TEL 092-623-2211 FAX 092-623-2212

CRC食品

佐賀営業所 〒840-0023 佐賀市本庄町袋131-16 TEL 0952-27-0831  
長崎営業所 〒852-8002 長崎市弁天町1-21 TEL 095-864-7027  
諫早営業所 〒859-0405 諫早市多良見町中里129-9 TEL 0957-28-5031  
鹿児島営業所 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町6-2 TEL 099-253-2867



## 食品関連検査

食品微生物検査・商品抜き取り検査・保存試験・栄養成分分析・味覚分析・  
食物アレルギー検査・食品添加物検査・残留農薬検査・異物検査 など

## 衛生関連検査

衛生調査・腸内細菌検査・施設関連の微生物検査・ノロウイルス検査・  
ノロウイルスふきとり検査 など

## 水質関連検査

飲料水検査・ビル管理法水質検査・水道法20条検査・プール水検査・  
浴槽水検査・濃度計量証明(下水・排水・河川など)・ゴルフ場農薬検査

## 環境関連検査

ばい煙測定・ダイオキシン類測定・室内空気環境測定・温泉分析・  
作業環境測定(ホルムアルデヒド・エチレンオキシド・有機溶剤) など

# ノロウイルスについて

## 1.特徴

- ・感染力が大変強く、少量（10～100個）でも発症する。
- ・症状が治まっても、1週間～1カ月間はウイルスが排出されるため、注意が必要。また感染者の中には症状の出ない人もいる。
- ・熱や酸、消毒用アルコールにも強く、不活化には85℃で1分以上の加熱、高濃度の次亜塩酸ナトリウムによる消毒が必要。

## 2.主な症状

- ・吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱が1～2日続く。
- ・感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。
- ・乳幼児や高齢者は、嘔吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

## 3.潜伏期間

- ・感染から発症まで24～48時間。

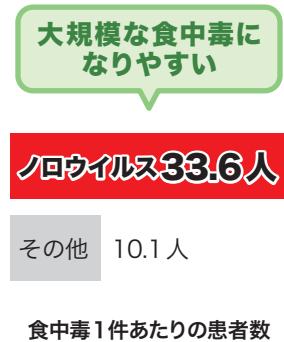
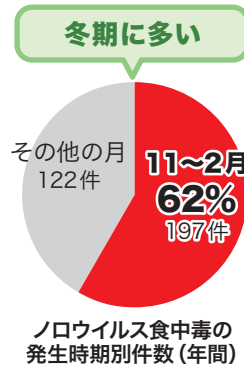
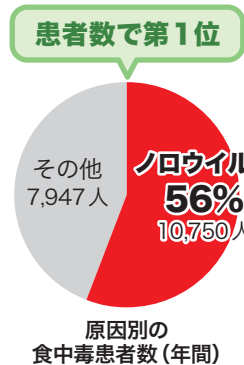
## 4.感染経路

- <食品からの感染>
  - ・感染した人が調理などをして汚染された食品。
  - ・ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など。
- <人からの感染>
  - ・患者の糞便や嘔吐物からの二次感染。
  - ・家庭や施設内などでの飛沫などによる感染。

参考資料：厚生労働省ホームページ

年間の食中毒の患者数の約半分はノロウイルスによるものですが、うち約7割は11月～2月に発生するなど、この時期の感染性胃腸炎の集団発生例の多くはノロウイルスによると考えられます。

ヒトの手を介した感染が多いため、調理施設、医療現場、老人介護施設および保育園などでは定期的な検便検査が求められています。



※出典：食中毒統計（平成26～30年の平均。病因物質が判明している食中毒に限る）

# ノロウイルス抗原 BLEIA 法とは

BLEIA法（生物発光酵素免疫測定法）は、ノロウイルスを特異かつ高感度に検出することができます。また、全自動生物化学発光免疫測定装置 BLEIA®-1200により糞便由来のノロウイルスを簡便かつ短時間に検出することが可能になりますので、ノロウイルスの検便検査に最適です。

BLEIA法は、化学発光法と比較して数倍～数十倍高感度で、遺伝子検査と同等の感度を持っています。



## ◆測定原理

ルシフェリン・ホタルルシフェラーゼによる生物発光法を原理としています。

抗体を結合した磁性粒子と検体中の抗原を反応させ、さらにホタルルシフェラーゼ標識抗体を加え免疫反応を行います。

B/F分離後、基質のルシフェリンを加えると発光します。この発光量を検出することで、検体中の抗原を測定あるいは検出します。

